

H、23. 3. 7

平成22・23年度 校区外部評価

評価項目1 基礎学力の定着

学校名 品川区立御殿山小学校

評価の観点		校区外部評価委員による評価		教職員による内部評価	
		総合評価 (評価)	評定についてのコメント	総合評価 (評価)	今後に向けて
①毎時間、きちんと授業が行われている。		A	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ参観しても、しっかりと授業が実施されている。 ・各教室とも、児童の実態に応じて学習が進められている。 ・特に低学年が気分がむらぐ無く、on、offメリハリがある。 ・ステップアップ学習は、時間が短く時間内の終わらないことがあり、授業の終わりが明確でないことがある。授業のメリハリを付けた方がよい。 ・チャイム着席ができています。落ち着いた態度で授業を受けている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の始まり、終わりの挨拶の仕方が各クラスでまちまちのため、統一することを検討する。日直の号令がふざけていたり、きちんと挨拶しなかったことがあったので、基本形を徹底させる。 ・休み時間のチャイムは、ほとんど守られているので、今後はボールをすぐに持ち、教室へ向かうことを徹底していく。 ○学校全体できまりを生活指導部で検討し、全体で確認し、次年度は徹底していく。
・挨拶で授業が始まり、挨拶で授業が終わっている。	A	A			
・チャイムと同時に授業が始まり、終わっている。	A	B			
・授業のねらいが明確である。	A	B			
②児童・生徒の興味・関心を喚起するメリハリのある授業が行われている。		A	<ul style="list-style-type: none"> ・教材等工夫して授業が行われている。 ・視聴覚教材、機器の有効な活用をさらに進められたい。 ・各先生方が工夫された教科書以外のプリントをどの教科も使用されていてよい。教師、児童とも授業に対する取り組みはしっかりできている。 ・教師それぞれが工夫した授業を行っており、板書も丁寧に机間指導も適切に行っている。 ・写真を用意して説明するなど児童が興味をもって授業を受けている。少人数の授業は、児童が集中して勉強している。教師の目も行き届いている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教師主導型の授業が見られたり、グループでの作業になると場をわきまえない行動を取ったりする児童も散見される。教材研究を深め授業の工夫が必要である。
・教師は、工夫のある授業を展開している。	A	B			
・教師は、児童に対して明確な指示や発問をしている。	A	B			
・授業中、児童は課題に一所懸命に取り組んでいる。	A	A			
③学習規律が徹底されている。		A	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は、教師の指示や説明をよく聞き、活動を進めている。 ・全体的には問題ないように思うが、学年が上がると辞書やプリント類など机上整理が小さな机の上で大変だと思う。 ・落ち着いた授業が行われていてほとんどの児童は、熱心に勉強に取り組んでいる。 ・一部机上の整理に目が届いていないクラス(授業中関係ない道具が机上にあつたり体育の着替えの整頓ができていなかったり)が見受けられた。授業中、おしゃべりをしていて先生の指示を聞けない児童がいた。授業に関係ない児童がいた。学年や授業によっては指示されたことにすばやくとりかかることが十分でないこともある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢の悪い児童には、正しく座ることの意義を理解させ、正しい姿勢で学習させたい。 ○生活指導部で学習の決まりを検討し、次年度からは学習規律を徹底させていく。
・児童は、話の聞き方や発表の仕方など学習ルールを守っている。	A	B			
・児童は、指示されたことにすばやく取りかかっている。	A	B			
・児童は、学習規律を確実に守り、机上も整理されている。	B	B			

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

評価項目2 社会性・人間性の育成

学校名 品川区立御殿山小学校

評価の観点	校区外部評価委員による評価		教職員による内部評価	
	総合評価 (評価)	評定についてのコメント	総合評価 (評価)	今後に向けて
本校の基本的な考え方 <small>(特に身に付けさせたい力、重点的な実践内容など)</small> 社会性・人間性の育成は、基本的な生活習慣はもとより、人間関係の良好な形成や規範意識の高揚と子供一人一人の感性を刺激する活動を十分に与えることにより高められた社会的役割を認知するものであると捉え、これらを通して人間尊重の精神・態度を養う。 ・高い規範意識と確実な生活習慣 ・異年齢集団活動の推進 ・保幼小連携事業の推進 ・市民科学習の着実な実施				
①児童・生徒は、場に応じた行動の仕方を身に付けている。	A	・廊下等で自然に挨拶を返して気持ちが良い。 ・休み時間、廊下等での見る、児童同士の言葉づかいは、指導の必要も感じる。 ・以前よりも自然と挨拶をかわせるようになった。話しかけたり質問に対しても丁寧に答えてくれた。 ・学校訪問時、いつでも児童は礼儀正しく気持ちがよい。 ・始めのうちは、とまどっていた低学年も挨拶が上手になってきた。	B	・マナー(挨拶・場に応じた言葉遣い)、ルール(廊下歩行、持ち物、服装など)、けじめなどの指導を徹底していく。 ・落とし物や落ちているゴミを見ても見ぬふりをしている児童がいる。規範意識を高めていく。
・誰に対しても礼儀正しく挨拶ができる。	A		B	
・適切な言葉遣い、生活習慣が身に付いている。	A		B	
・授業時間と休み時間の区別をつけている。	A		A	
②いじめを許さない等、子ども同士のよい人間関係が構築されている。	A	・子供同士のかかわり合いでは、言葉の掛け合いの善し悪しで、問題行動に発展することがあるので、行動観察を密にする必要があると思う。 ・学級の活動が、活発に展開されている様子が伺える。子供同士のいざごはる程度自分たちで解決する力をつける必要があるように思う。相手に心を開き、お互い話を聞き入れる姿勢を身に付けてほしい。学年年齢にあった指導を続けてほしい。 ・一部乱暴な言葉が聞かれることもあるが落ち着いている。 ・全体として問題がないように見受けられるが、顕在化していない問題がある場合も否定できない。	B	・言葉で相手が嫌な思いになる場面が見られるときがある。(人の心を傷つけるような言葉や行動、子供同士だと言葉がきつくなるなど)。今後は、週目標や学級指導などで気持ちの良い過ごし方を指導していく。市民科の授業を通して指導していく。ルール違反を見逃さず、毅然とした態度で指導していく。
・子供同士が適切な言葉遣いをしている。	B		B	
・相手や他者の立場に立った思いやりのある行動ができる。	B		B	
・学級・学校全体の仕事をするなど、奉仕の精神が表れている。	A		B	
③市民科の学習を生かして、社会性・人間性の育成を進めている。	A	・家庭・地域等に、市民科の授業及び行動の評価を具体的に分かるような情報提供をお願いしたい。 ・市民科の教科書の内容を見ると学校と家庭で連携することで成果や問題点が話し合えることもあるように思う。コミュニケーション能力も高めていけるとよい教材だと思う。 ・学年から家庭への配信が少ない。 ・市民科での学習内容は家庭によく伝えられているが、各家庭がどの程度協力しているのかについては見えてこない。	B	・市民科での授業が日常生活に反映されるような行動評価を適宜行うことが児童に振り返らせるきっかけとなる。次年度からは家庭との連携もより深め実践していく。
・年間指導計画を生かし、着実な授業が実施されている。	A		A	
・市民科での学習が日常実践に生かされている。	A		B	
・市民科での学習内容が家庭にも伝わり、協力を得ている。	B		B	

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

評価項目3 小中一貫教育の推進

学校名 品川区立御殿山小学校

本校の基本的な考え方 <small>(重点的な取組内容など)</small>	学力向上の視点から…………… 人間形成の視点から……………	小中一貫教育の最終目標である「自学自習の体得」を目指し、9年生での出口保障を行うために知識・技能の習得から知恵の創造に向けた教育活動を推進し、保護者・児童・地域からの信頼を得る。 「自分も相手も大切にす」心をはぐくみ、正しい人権感覚を醸成することに努め、「時を守り、場を清め、礼を正す」全ての教育活動の根底に据えて指導することにより、高い規範意識の育成に努めていく。
--	--------------------------------------	--

評価の観点	校区外部評価委員による評価		教職員による内部評価	
	総合評価 (評価)	評定についてのコメント	総合評価 (評価)	今後に向けて
①校長は、小中一貫教育の意義を教員に指導している。	A	・小中一貫教育の趣旨や連携の具体化は進展していると感じる。 ・四校で取り組む漢字や算数は、成果がある。 ・日野学園との連携がとれていると思う。 ・分離型連携校を生かしながら御殿山小の独自性も生かされている。	B	・4-3-2のまとまりをいり意識し、実践化していくことが大切である。新小中一貫教育要領の理解を一層深める。
・教師は、一貫教育の意義・目的を理解し実践している。	A		B	
・9年間を見通した年間指導計画に基づいた授業を行っている。	A		B	
・合理的な組織体制に基づいて一貫教育が実践されている。	A		B	
②学校は、保護者・地域に、小中一貫教育のよさを理解してもらう努力をしている。	B	・小中一貫教育にしたことによる、学力面、生活面での成果などを具体的に把握したい。 ・年々小中一貫教育という言葉に違和感が無くなっているようだ。 ・日野学園PTAから理科教室等のイベント参加の声もかきり楽しめた感想も聞いた。 ・小中一貫の利点として学習面・生活状況の9年間の成長を見守る必要のある児童の細やかな連携ができると9年生の卒業後の進路に役立つと思う。 ・学校と地域が一体となっていて地域も学校にとっても協力的であり、学校も地域に対し誠実でオープンである。 ・日野学園の生徒や中学の先生との交流を増やすと良い。	B	・小中一貫教育のよさが出るように工夫していく。さらに日野学園との連携活動の充実を図っていく。
・学校が発信する情報が保護者・地域に確実に伝わっている。	B		B	
・一貫教育のよさが児童に反映している。	A		B	
・一貫教育を意識した教育活動が実践されている。	A	B	B	

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

評価項目4 保護者・地域との連携

学校名 品川区立御殿山小学校

本校の基本的な考え方 <small>(重点的な取組内容など)</small>	学校・家庭・地域が相互に補完し合う三位一体の融合した関係づくりを通して、三者の責任・役割を明確にし、それぞれが担う体制をつくるため、積極的な交流と意見交換の場を設定していく。 ・学校公開や授業公開 ・スポーツ指導者や町会長、青年部との会合 ・PTAやおやじの会との交流 ・地域行事への教員参加 ・地域教材の活用				
	評価の観点		校区外部評価委員による評価		教職員による内部評価
	総合評価 (評価)	評定についてのコメント	総合評価 (評価)	今後に向けて	
①校長は、保護者・地域に対して積極的にかかわったり情報発信したりしている。	A	・日常的に、学校の教育の方向や具体的な教育活動の様子を多様な広報で知らされている。 ・学校便りによって授業の取り組みや学校の現況がわかる。 ・毎月違う教師のコメントがあり良い。 ・ホームページの写真は、もっと多くても良い。参加できなかった行事の様子がよく分かる。	A	・ホームページの更新頻度を上げていく。そのためには、各学年が更新する体制を作っていく。 ・遠距離通学児童に渡すべき書類が届けられない場合があるため、書式をホームページからダウンロードできるようにしていく。 ・学校便りの書式B4両面からA4両面にしたらどうか。係で検討していく。	
・学校だよりを始めとして必要な情報を発信している。	A		A		
・教職員はPTA・地域行事に積極的に参加している。	A		A		
・保護者・地域に対して誠実な対応をしている。	A		A		
②学校は、保護者・地域の力を十分に生かして教育を進めている。	A	・学校・地域が協力合って児童の指導に当たっている。 ・学校の教育活動を充実させる、人材の活用が継続的に進められている。 ・地域の方には、登下校の安全見守りなど日常お世話になり、感謝しています。 ・いろいろな課外活動(野球・サッカー・一輪車・金管バンド)も地域力を生かせる活動をし、地域の方にも参加・指導していただくと児童の居場所ができ、子どもたちの役割作りも活発化すると思う。	A	・保護者との協力体制作りをどのように作っていくべきか、共通確認する。この学年のこの時期に伝えるべきことなど、学校で共通に認識しておく。攻撃的な保護者に対して学校として対応していくためには情報を逐次上げ、今後も組織として対応していく。	
・地域の特色や人材を活用した取り組みを行っている。	A		A		
・児童に対してPTA・地域行事に積極的に参加するよう指導している。	A		A		
・保護者・地域は、学校に協力的である。	A		A		

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

評価項目5 環境整備・美化

学校名 品川区立御殿山小学校

評価の観点	校区外部評価委員による評価		教職員による内部評価	
	総合評価 (評価)	評定についてのコメント	総合評価 (評価)	今後に向けて
本校の基本的な考え方 <small>(重点的な取組内容など)</small> 自然をより一層豊かにするとともに美化教育の推進、安全で清潔な施設・設備、学習環境を整備し、快適な生活環境・生活空間を作り、心の安定を保ち健全な身体を育成する。 ・校舎内掲示物の工夫 ・自然環境の整備、校舎内外の整備 ・環境ISOへの取り組み ・運動環境の整備、図書館環境の整備 ・市民科コーナーの特設				
①児童・生徒の安全に配慮した教育環境が整えられている。	A	・不審者対応や施設設備の安全管理が徹底している。主事さん方の細やかで迅速な対応に感謝。 ・校舎内の環境は、常に目が行き届いており、整備されていて気持ちがよい。 ・玄関や廊下などいつも綺麗になっている。	A	・戸棚や物入れの整理を定期的に位置づける。次年度は環境整日を設定し実施していく。 ・特別教室の掃除用具や花壇の道具の片付けができていないため、片付け方の絵や説明文を表示する。 ・各教室の視聴覚機器の不具合が多いので、次年度は年度初めに点検したものを配当し、年度末を待たず、安全点検日に各担当者による点検を行っていく。
・登校時、下校時の門の施錠や開錠、看護当番の見回りが確実にされている。	A		A	
・校舎内の整理・整頓が行き届いている。	A		B	
・破損箇所などは適宜、修理・改修されている。	A		A	
②教育活動に適した環境(掲示、清掃等)が整えられている。	A	・児童の学習の成果である、様々な作品などが、整然と展示されている。 また、学級での児童の活動が見える表示物も工夫されている。 ・校内の清掃が行き届いている。 ・作品展示にも工夫が見られ楽しい。 ・学校訪問時、児童による作品が展示されてあるので、見るのがとても楽しみである。 ・校庭や校舎の回りの花壇には、いつも四季折々の花々が咲いており、緑も豊かで情操教育に役立っている。	A	・本校では、展覧会を実施していないこともあり、日常の掲示物の充実には今後も強化していく。
・児童による作品や掲示物が常に展示してある。	A		A	
・緑にはぐくまれ、緑をはぐくむ環境がつくられている。	A		A	
・児童・教職員・主事による清掃が行き届いている。	A		A	

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

評価項目6 学校独自の特色ある教育活動

学校名 品川区立御殿山小学校

評価の観点		校区外部評価委員による評価		教職員による内部評価	
		総合評価 (評価)	評定についてのコメント	総合評価 (評価)	今後に向けて
本校の基本的な考え方		一人一人の児童の個性や能力に応じた指導体制や指導内容・授業方法を取り、適切な学習環境、生活環境を与え、個の確実な成長を促す。 ・学力の定着と向上 ・様々ななかかわりのできる子の育成 ・健康教育の推進			
①学力の定着と向上を目指している。		A		A	
	・帰りの学習で個々のつまづきを指導する。	A	・学力の定着に、授業内容及び多様な学習の機会の設定など工夫している。 ・学力の向上の成果を上げている。 ・丁寧な指導ができています。漢字ステージは定着し、身に付いている。 ・帰りの学習でそのつまづきを早く解決できるのはよい。	B	・帰りの学習について多く時間の確保が難しいため、個別の学習がとれないため、日課時程や時間割を工夫して高学年も帰りの学習がとれる日を設ける。教務で提案。→月曜日2回は、帰りの学習の時間を確保する。
	・個別カルテや面談で基準に満たない点を明確にし、個別指導を実施する。年度末学力テストで定着度を確認し、次年度の指導にいかす。	A		A	
	・昼帯の漢字ステージ学習やステップアップ学習では、複数教員で個に応じた指導にあたる。	A		A	
②様々ななかかわりのできる児童を育成する。		A		A	
	・縦割り班活動や異学年・園児との交流を多く設定する。	A	・異年齢、幼児児童の交流や外国籍の児童等とのかかわりを日常的に指導され、社会性や多様な価値観などの育成に継続して取り組んでいる。 ・春から御殿山幼稚園が移転するが今後も異年齢の児童との活動を続けてほしい。 ・ごてんやま祭りやサマーフェスティバル等楽しく交流できている。	A	・縦割り班活動が形骸化している。縦割り委員が懸命にやっているが、異年齢で人数が多く、掌握できない。児童活動部で検討していく。→委員会制度にはせず、縦割り班を少人数で組織する。
	・幼稚園行事・地域行事へのボランティア活動をすすめる。	A		B	
	・外国籍児童・帰国子女に対し必要に応じて個別指導し、他の児童に異文化を理解させる。	A		A	
③健康教育を推進する。		A		A	
	・新体力テストを実施し、実態に沿った運動領域をパワーアップタイムに組みこむ。	A	・児童の体力向上に、学校全体で取り組んでいる様子が伺える。 ・教育課題に関する校内研究など、研究と実践を積み重ねる実践によって着実かつ継続的な成果が期待できる。 ・下校後の運動量は、差があるようだ。学校内で体力増進、健康維持できるよう日頃から心がけができるとよい。体を動かしている子どもたちは楽しそう。 ・児童の体力アップに向けてのカリキュラムが工夫されており、学力とともに体力向上に力を注いでいてとても気持ちがよい。 ・体力テストに基づいた工夫がよい。	A	・体力向上にまでは至らなかったが、心身の健全育成に今後力を入れていく。
	・校内研究で体育授業の指導方法を研究し、運動環境を整備する。	A		A	
	・食育・薬育・健康教育などの指導を通して、健康に関する児童・保護者の関心を高める。	A		B	

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

